

# 令和7年度 桶川市職員採用試験の概要

桶川市はこんな人を求めています！

- 自律的に考え方行動し、学び続ける人
- 強い好奇心をもって広く物事を学び、変化を楽しめる人
- 周りの人への感謝を忘れず、周囲と協力して仕事に取り組める人



## 1 桶川市の紹介

### ～市の概要～

桶川市は、江戸時代末期から明治時代初期にかけて中山道の宿場町として、紅花や小麦などの集散地として栄えてきた歴史があります。また、近年では平成27年3月に上野東京ラインの開通によりJR高崎線と東海道線の相互乗り入れが実現し、同年10月には市内で2つ目となる桶川加納ICの供用開始とともに、圏央道が東名高速道路から東北自動車道まで開通するなど、全国の高速道路と首都圏を結ぶ交通結節点として、まちのポテンシャルが高まると同時に交通の利便性が飛躍的に向上しています。

更に平成28年7月に羽田空港行きの高速バスの運行が開始されるなど、地の利を活かした便利なまちづくりが着々と進められ、令和7年3月開業の道の駅「べに花の郷おけがわ」の整備や企業誘致等に積極的に取り組み、「交流拠点都市」の実現に向けて大きな期待が高まっています。

### ～桶川市の情報～

人口	74,107人 ※令和7年4月1日時点
総面積	25.35km <sup>2</sup>
職員数	454人(男性243人、女性211人) ※令和7年4月1日時点

## 2 採用試験の内容

令和7年度第1回採用試験について、作文試験は実施しません。申込時に作文を提出していただきます。(全職種)

### ～過去の作文試験の出題テーマ～

年度	出題テーマ
令和6年度	事務職:桶川市の市民満足度(住みやすいと感じる市民の割合)を向上させるために、行政はどのようなことをすべきか(9月) これなら負けない!桶川市特有の魅力(1月) 保育士職:児童虐待のない社会を目指して、保育士が担う役割(9月) 技術(土木・建築):人口の減少や高齢化に対応した道路、公園、施設などの整備や維持管理について(9月) 技術職(土木・建築)という専門性を活かし、桶川市にどのような貢献ができるか(1月) 保健師職:児童虐待がおこる背景と、保健師として、どのように虐待予防に取り組むべきか(9月) 高齢者・母子保健・子育て支援等の地域包括ケアシステムについて1つ選択して説明し、その構築に向け保健師としてどのように取り組むか(1月)
令和5年度	事務職:桶川市の職員として、10年後あなたはどのような職員になっていたいか。

	<p>また、その実現に向けてどのような行動が必要か。</p> <p>保育士職:子どもが安心して過ごせる環境づくりのため、実践していきたいこと。</p> <p>技術(土木)(建築):土木又は建築行政に携わる者として何を求められているか。</p>
令和4年度	<p>事務職:あなたにできてコンピューターにできないこと。また、コンピューターにできてあなたにできないこと。</p> <p>保育士職:現在のわが国における保育を取り巻く課題を一つ挙げ、それを解決するために公立保育所、そしてあなたにできること。</p> <p>技術職(土木)(建築):自然災害が発生した場合、市職員はどのような役割を果たすべきか。</p>

### ～過去の採用試験実施結果～

職種	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	採用人数	倍率	採用人数	倍率	採用人数	倍率
事務職【一般】	14	8.2	8	8.1	10	5.8
事務職【障害者】	-	-	-	-	-	-
事務職【社会福祉士】	1	2.0	-	-	-	-
技術職【土木】【建築】	1	3.0	2	1.0	-	-
保育士職	2	1.0	2	4.0	1	3.0

### 3 求める人物像のご説明

#### ～自律的に考え方行動し、学び続ける人～

行政の仕事は幅広く、また常に変化をし続けています。市民の方々から求められるものも日々変化し、高度化しています。こうした変化を捉え、柔軟な思考で問題を考え、適切な行動をとることが必要となってきています。与えられた業務に対して、学ぶことをやめない人が必要です。

#### ～強い好奇心を持って広く物事を学び、変化を楽しめる人～

桶川市では、平均3～5年に1度、部署の異動を行います。部署によっては、民間企業の転職と同じくらい業務内容が変化することもあります。そのような変化を楽しみ、何事にも好奇心を持って学び続けられる人を求めていきます。

#### ～周りの人への感謝を忘れず、周囲と協力して仕事に取り組める人～

個人の力には限界があり、市役所の仕事において1人で完結するものはありません。どんな仕事でも周りの人と協力しながら取り組み、周りの人の協力に素直に感謝できる人を求めていきます。

### 4 多様な働き方実践企業

桶川市は、埼玉県から「多様な働き方実践企業」の認定を受けています。仕事と子育て等の両立を支援し、働きやすい職場づくりをしている企業等が認定されます。桶川市は最高ランクである「プラチナ」の認定を受けており、働きやすい職場であることが埼玉県にも認められています。

桶川市役所

